

# フォニックスクラス受講生募集中!

# 新着情報・お知らせ

# アークアカデミー通信

News Letter Jan 2021

Vol.124



Happy New Year!

## ★CONTENTS★

- はじめに
- 日本人が英語を学習することって
- 新着情報・お知らせ
- 今月の誕生日
- 日本人と文法
- 英語でGame Night
- フォニックスクラス受講生募集中!

## はじめに

What's your new year's resolution?  
(新年の抱負はなんですか?)

年明けの友人との会話。きまって聞かれるのがこの「新年の抱負」。2021年が皆様にとって、夢に一歩近づく1年でありますように!

さて、世の中「3大続かない習慣」は「早起き」「ダイエット」「片付け」だそうですが、実はその後が続く4番目が「語学の勉強」なのだそう。私の意見では、早起き・ダイエット・片付けは、結果がすぐに可視化できるので、語学の勉強よりずっと楽だと思います。語学、特に日本語とまったく異なる言語である英語の習得は、本当に時間がかかります。また、結果がすぐに可視化できないので、真つ暗なトンネルの中を光を求めてひたすら歩いている感じさえします。「英語がペラペラしゃべれる」というキラキライメージの陰には、毎日の地味な学習や、反復練習の積み重ね、そして涙もあるものです。

あるマーケティング講習会に参加しましたが、会社のネット宣伝はブログではなく、インスタグラムが主流だと言われ、恐る恐るインスタグラムを始めましたが、「イメージ」ばかりが先走りして、本質的な事は伝わらないものだと実感しています。英語での流暢なスピーチの様子、英検合格の発表等を紹介してもらった時もありますが、キラキラしたイメージの裏で、どれだけ皆さんが努力しているかはなかなか伝わらないものです。また、楽しそうに英語学習をしている子供達の背後には、親御さんの家庭学習のサポートや、毎回の送迎、励ましがあるものですが、そうした大切なものはインスタグラムでは可視化できません。

イメージとは裏腹に、英語学習は長い道のりを、とにかく前に一歩一歩ひたすら進んでいく地味な努力の積み重ねです。結果がすぐに出なくても、いつか必ず量に比例した結果は出ます。その結果は、キラキライメージより、もっと広く深く豊かな人生の喜びを提供してくれるものなので、それを信じて2021年も一緒に長いトンネルを歩いていきましょう!

日本の中学・高校の英語って、「我慢・忍耐・暗記」が求められていて、自分自身を振り返っても、まるで修行僧のように単語の暗記に明け暮れていたように思います。でも穴だらけのザル状態で、覚えてもすぐに忘れてしまうんですね。35年前の私にアドバイスできるのなら、「フォニックスと英語の多読」を熱く語ったことでしょう。

特にフォニックスは、ローマ字に洗脳される前に導入できると、後々の英語学習が本当に楽になります。暗記しなくても、ルールさえ覚えれば、ある程度の単語を暗記に頼らなくても書ける・読めるようになります。また、発音もきれいになるといい、うれしい副産物もついてきます。

当教室の人気クラス「スーパーフォニックス」では、フォニックスの基礎を楽しく学びます。このクラスを受講された生徒さんからは、英語の理解力が格段に伸びたという嬉しい報告もいただいております。読み・書きに興味を示し始めた時が始め時です。ぜひ4月からの受講をご検討ください!

アークアカデミーで学習されている方にとっては馴染みのフォニックス。フォニックスとは

- ★綴り字(A, B, C...) と
- ★発音(ア, ブ, ク...)

の関係を示した英語のルールです。欧米のプリスクールや小学校等でも採用されており、きれいな英語の発音を身につけるために発展してきました。とても便利で効果的な英語学習のツールですが、日本ではまだまだ認知度が低いようです。

フォニックスを勉強すると、

- 英語の「スプリング(綴り)」のルールがわかり、単語が読みやすくなる
- 知らない単語でも、発音を推測しながら読み書きできるようになる
- 発音に自信が付き、英語を話すことが楽しくなる! きれいな発音が身につくようになる

英会話レッスンや、教材の英語の発音を真似る際に、「なぜ、その音が出るのか?」ということがフォニックスを学ぶことにより分かるようになるため、英語を話す際の感覚がぐんとアップします。「英語の発音は苦手で...」と英語を話すことに尻込みしてきた方でも、フォニックスをマスターすることで「英語で話すのが楽しい!」となり、英語スピーキング力がぐんぐん上達していきますよ。

言語の本質は音。日本の英語教育で残念な事の1つに、発音の軽視があげられるように思いますが、一旦カタカナ発音が定着するとその克服が非常に大変です。日本ではだいたい小学校高学年くらいから強いカタカナ訛りの英語発音が刷り込まれます。一旦付いた癖は直すのが容易ではないです。発音が良いとリスニングもすくすく伸びる。そして話せると書ける。で、話せるとセンテンスを読解・解読する必要も無くなり、文をそのままの語順で読めるので読みも早くなります。

「聞いてわかる!」という嬉しさ、「自分でも英語で発音できる!」という喜び、そして「書ける」「読める」という楽しさは子供のやる気をどんどん引き出します。この「自発性」を育成することが、フォニックス学習を大切に思っている最大の理由なのです。フォニックスはそれ自体が目的ではなく、英語学習をより楽しくするサポート、興味のある方は受付までお問合せ下さい。

### 【スーパーフォニックス】

- 曜日: 木、もしくは金曜日 (時間はまだ未定)
- お月謝: 3000円 (アークで別のクラスを受講されている方)  
5000円 (フォニックスクラスのみ受講の方)
- 担当: 育子先生

●《重要》翌月からの各種変更(休会・退会など)の手続きの届出締切日は20日までです。お間違いのないようお願い致します。一部欠席された場合、あるいは20日までに休会・退会のご連絡がなかった場合、特別な理由を除き後からの払い戻しはできませんのでご了承ください。

●最近、マスクを忘れている生徒さんが多くなっています。教室内は**必ずマスクを着用してください**。レッスン用のバックにスペアのマスクを入れていただければ、うっかり忘れてしまった時も安心かと思えます。ただし、5歳以下のお子さんは、正しくマスクを着用する事が困難なため、オプションとさせていただきます。

●【お礼】心のこもったクリスマスカード・年賀状など新年のお便りをありがとうございました。楽しく拝見させて頂きました。今年もスタッフ一同張り切って皆様に愛される学校へと成長していきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

●新年度クラス時間割案は1月中にお渡しします。ご確認の上、新年度クラス申し込み用紙に、第2希望(あれば第3希望まで)までお書きの上ご提出ください。

●2月に参観日を予定しておりましたが、今年はコロナ感染症拡大防止に伴い、残念ながら中止とさせていただきます。

●多読アプリ有料貸し出し受付中:  
①多読アプリ+フォニックスアプリ 600円/月  
②多読アプリ 400円/月

●《1月~2月の振替日》12月以降は振替ページをご参照下さい。振替の予約をキャンセルする場合は、確認メールよりお手続きください。

スーパーキッズ	1月23日(土)	2月13日(土)
キッズ①&①+	1月30日(土)	2月20日(土)
キッズ②&②+	1月19日(火)	2月9日(火)
キッズ③&③+&キッズ④	1月26日(火)	2月16日(火)
キッズ④+/中学生	1月16日(土)	2月6日(土)

## ARK ACADEMY



フェイスブック



インスタグラム



ホームページ



補講予約ページ

〒669-1323 三田市あかしあ台4-8-1

Tel / Fax : 079-563-3132

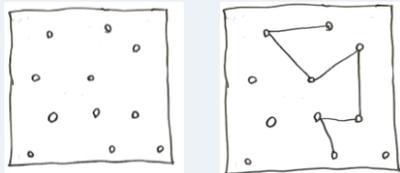
アークアカデミー英会話教室

# 日本人と文法学習

文法と聞くと、「いや〜！！助けて〜！」と嫌悪される方は多いと思います。その割には、英語学習＝文法という意識が未だに強く、文法に対して強いこだわりがあるという矛盾・

母国語式で言語を習得していくと、文法を含むその言語体系が自然に構築されていきます。助詞とか修飾語というような文法用語を教えずに、その言語のルールを身に付けていくことができます。日本では、国語という教科は非常に重視されていますが、国語＝文法の時間ではなく、正しく文を読み取る力、文・文学を味わう、表現力を豊かにする、という日本語能力全般を高めることを目的に国語の授業がされています。英語も同じで、文法は厳格なルールを学ぶためではなく、言語表現を豊かにすることが目的のツールなのです。

下記の図をご覧ください。



左の図の点は単語やフレーズを表します。文法というツールは、バラバラだった点をつなぎ、整理をする役目を持ちます(右の図)。単語やフレーズ(インプット量)がたくさんあればあるほど、文法というツールが活躍します。逆に点(インプット量)がないと文法は単なる知識にしすぎません。英語を野球に例えると、ルール(文法)をしらなければゲームを楽しむ事ができません。逆に、ルールを知っていても、実践的な運動能力がないと試合になりません。このように、文法は言葉を運用するためのツールのはずですが、公教育では文法の知識を問うテストがほとんどになってきます。中学文法十過去仮定法 程度の文法力があれば、日常英会話には十分に楽しめる事ができると思いますが、それらを運用できるだけの反復練習や、単語やフレーズ(左の図の点)の量がまったく足りていないので、文法という便利なツールが生かされていないのです。

中学2年生の後半頃から、続々と英語嫌いが増えてきます。その嫌になる要因が文法にあるように思います(その他にも、単語を覚えられない、スペルができない、という悩みを持つお子さんもたくさんいます)。特に「受動態」「関係代名詞」「現在完了形」が出てくると、途端に訳が分からなくなります。なぜ分からなくなってくるかというと、日本語にはない概念を無理やり日本語で翻訳しようとするからだだと思います。

受動態は日本語にあることはありますが、言葉が変われば世界観も変わるように、使い方が微妙に違ってきます。アミニズムの影響か、物が主語になる事に日本人はあまり違和感を感じません。例えば、「お皿が割れる」「家が建つ」等、まるでお皿や家が自分の意志で割れたり、建ったりしているような言い方をします。日本語では「赤ちゃんが生まれる」という言い方をしますが、英語では受け身となり「The baby was born」(あかちゃんが(自分の意志ではなく、別の力によって)生まれさせられた)という言い方になります。現在完了形なんて日本語にない時制なので、これを理解するのはなかなか難しいところがあります。英語の時間感覚と日本の時間感覚には違いがあり、日本語脳では処理しきれなくなってくる。関係代名詞も、後ろから前に訳していくようでは、いつまでたっても日本語が抜けません。

このように英語の学習を進めるにつれ、日本語脳が邪魔になってきます。少し抽象的に聞こえるかもしれませんが、「日本語を英語に、英語を日本語に」翻訳する癖が、やがて英語力の向上を妨げる日が来ます。

一方、小さい頃から英語に触れ、英語の本をたくさん読み、英検準1級等も難なくクリアしてきた子供達が、学校のテストの点がいまいち、というケースもよく聞く話です。多読などを通して、英語を英語として感覚的に習得してきた子供達ですが、

学校英語では英語の運用能力ではなく、翻訳能力や規格に合った答えを書く能力等が求められているため、授業は簡単に感じて、英語の実力が点数に結びつかないケースもあります。我が家の長男も、英語運用能力(特に聞く・話す)は私よりはるかに高いと思いますが、学校のテストは目も当てられない結果となることでしょう。せっかく英語を英語で理解する脳が育ってきているのに、公教育では日本語が介入しないと点数に結びつきません。

日本で公教育を受ける限り、ややこしい英語教育とは無縁でいられません。中高で厳格な英文法の洗礼を受ける事も無駄ではないと思うのですが、「重箱の隅を突くようなことをして減点するから、英語の運用能力を持った子が育たないのよ!」と叫びたくもなります(笑)。でも、私のようなちっぽけな個人が叫んだところで、何も状況は変わりそうにないので、英語の運用能力を育てつつ、テストの点数と自信に繋がるのであれば、「規格に合った答えを書くテクニック」も必要に応じて指導できればよいと思っています。

ちなみに、我が家の息子が大活用している教育サイト「19ch TV」は、中・高校の学校英語をやり直したい人にはお勧めです。また、運用できる文法力を伸ばしたい方には、英語学習アプリ「Duolingo」等の活用をお勧めします。

文法を知識として学ぶだけではなく、実践的なツールとして使ってみる事、そしてその作業を膨大な数をこなしていくことで、英語を英語のまま理解する英語脳を育てる事ができます。来月のアークアカデミー通信では、楽しく気軽に文法が学習できるアプリを紹介いたします。

参考：19ch.TV

【対象】小学3年生～中学3年生  
元塾講師、葉一さんの人気学習動画。¥0で学べ放題。2000本以上の勉強動画・プリントできる教材が無料。基礎を固めたい方にお勧め



おめでとうございます！！

# 英語でGAME NIGHT

## 成人向け単発イベント

日頃は忙しいパパやママ。英会話をしてみたいけれど、毎週は無理・・・と諦めている方も多いのでは？

そんなパパやママ(成人なら誰でもIOK)の為に気軽に英語を楽しめる「英語でGame Night」を企画しています。欧米で人気のボードゲームをしながら、英会話を楽しみましょう！

第1回目のゲームナイトは1月23日に予定しています。英語に興味があるお知り合いがいれば、ぜひお誘いの上、ご参加ください。

日時：1月23日(土)午後7時～(1時間半～2時間)  
場所：あかしあ台教室  
参加費：1000円  
※参加者3名以下の場合はキャンセルとなります。

Message from Christopher



# 日本人が英語を学習することって

「学校で英語を9年も勉強して、日本人はなんで英語がしゃべれないの?」と不思議がる外国人の方がいらっしゃるかもしれませんが、日本人にとって英語は発音も文法も、まったく違う言語なのだから当然だ!と堂々と聞き直りましょう。日本人が外国語習得を苦手としているわけではなく、共通点がほぼない英語を習得する事が大変なのです。多分、韓国語や中国語を習得するには、英語ほど時間はかからないかと思えます。こんなにも異なる言語なのに、日本人って本当に英語を頑張っているな〜と感心します。下記の表はその違いを分かりやすく表に表したものです。文法にしても、発音にしても、まったく違う言語だという事が分かるかと思えます。なので、文法や発音を日本語という枠の中で学習する事に無理が出てきます。ある程度の基礎が固まれば、日本語の比率をできるだけ小さくしていき、「英語は英語で学習する」に移行していく方が合理的です。そして飽くことのない反復練習しか英語習得に至る近道はありません。だからこそ、やりがいのあるチャレンジです!

(出典：エースネイティブ発音リスニングスピーチ研究所)

